

がん哲学学校 in 神戸

第26回メディカル・カフェ開催のご案内

お茶をのみなながらゆっくりお話をしませんか？

「メディカル・カフェ」って？

メディカル・カフェとは、患者さん、ご家族、医療従事者等、様々な方が集まって、お茶を飲みながらゆったりと会話する場所です。「医療の隙間を埋める」ために、定期的を開催する予定です。たくさんお話をして、笑顔になってみませんか？

開催日 : 2019年 9月28日(土)

13時~15時30分(受付12時30分)

場所 : 神戸薬科大学地域連携サテライトセンター

プログラム

12:30 受付開始

13:00 開会の挨拶

13:10

講演：チャイルド・ケモ・クリニック院長

楠木 重範 先生

「がんになっても笑顔で育つ」

14:20 メディカル・カフェ

15:30 閉会の挨拶





【楠木 重範 先生】

中学2年生の時に、小児がんの一種である悪性リンパ腫を発症。約3年の闘病生活の後、治癒。平成11年小児科医となる。医学の進歩に伴い小児がんの治癒率は約7割まで向上したが、地域格差などがあり、医療の進歩が臨床に十分還元されていない事と、病院の不十分な療養環境に疑問を持ち、NPO法人チャイルド・ケモ・ハウスを立ち上げる。平成25年4月神戸市の医療産業都市があるポートアイランドに、日本で初めての家族滞在型療養施設チャイルド・ケモ・ハウスを開設。小児科の臨床医として活動をするとともに、小児がんに関する啓発活動も行っている。



先着 50名
締め切り：9月20日(金)

【がん哲学外来とは】 (http://www.gantetsugaku.org/)

がん哲学外来とは、順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座の樋野興夫教授が提唱する「医療の隙間を埋める」活動です。がんであっても尊厳を持って人生を生き切ることのできる社会の実現を目指し、より多くのがん患者が、垣根を越えた様々な方と対話することにより、「病気でであっても、病人ではない」安心した人生を送れるよう寄り添う場です。たくさんお話をし、笑顔になってみませんか？

本学でのメディカル・カフェは、学生も参加しております。ご了承ください。



住吉駅南口側連絡通路から、「KiLaLa 住吉」施設内を1Fに進んでください。

国道2号線を歩道橋で越えて、南にまっすぐ進んでください。

お申し込み先

FAX : 078-441-7837

Mail : cpec@kobepharma-u.ac.jp

9月20日(金)までにメールまたは下記に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。お電話またはメールで確認の連絡をさせていただきます。

Table with 4 rows and 2-3 columns for application form: フリガナ, お名前, ご住所, ご連絡先 (電話番号, メールアドレス), ご勤務先, お知りになったきっかけ

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター
〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1 TEL : 078-441-7836
主催：神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター、 協賛：クラフト(株)、(株)スヴェンソン
後援：一般社団法人がん哲学外来、神戸新聞社